

社協だより



共同募金配分金で作成しています

発行 社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会
城陽市寺田東ノ口17 福祉センター1階

TEL 0774(56)0909 平成27年夏号発行

FAX 0774(56)2800

第112号

http://www.kyoshakyo.or.jp/joyo/

身近な場所であつまい・ふれあう

【今池校区社協 高齢者会食会】

市内10の小学校区には、各校区社会福祉協議会（校区社協）が組織され、地域ごとに様々な活動を実施しています。市社協では、市民の皆様からご協力いただいた社協会費や共同募金を地域の福祉活動推進に役立てるため、校区社協活動への活動助成支援などを中心に行っています。

高齢化が進み城陽市でも高齢化率が30%を超える中、住民同士がつながり、たすけあいながら暮らししていける取り組みをこれからも支援していきます。

今回は、身近な地域で集まり交流できる活動として、今池校区社協の高齢者会食会を紹介します。

今池校区社協（今池コミュニティセンターと共催）では、前期と後期の2回、一人暮らしの高齢者を対象とした会食会を行っています。食事をする前には、DVD鑑賞やちょっとしたゲーム等で参加者同士の交流を深めたり、在宅介護支援センターや保健センターの職員を招き、健康に関するお話を聞いたりします。お昼までゆったりとし

た時間を過ごした後は、いよいよご飯の時間です。メニューは季節の野菜を使用したもので、校区社協の役員の方や民生委員の方たちが心を込めておいしく作ってくださいます。大勢の人たちと食べる食事は、よりいっそうおいしく感じると思います。地域の方と交流する機会に、ぜひ、参加してみてください。



○開催日・場所等

・開催日・対象地域

6月27日（土）・10月17日（土）

【大堀・枇杷庄・水主団地】

7月18日（土）・11月7日（土）

【富の里・島の宮】

9月5日（土）・1月23日（土）

【駅前・高背・水主】

9月19日（土）・2月20日（土）

【西ノ口・大三戸・敷島】

・時間：10時～13時

・開催場所：今池コミュニティセンター
城陽市枇杷庄知原15-1

・参加費：300円

・参加対象：今池校区在住65歳以上の
一人暮らしの方

男性のみなさんも気軽に参加してみてください！
たくさんの方のご参加をお待ちしています！

会長 就任のご挨拶

社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会

会長 鈴鹿 義弘



市民の皆さま、私はこのたび、山岡誠前会長の後任として6月1日付で会長に就任した鈴鹿義弘でございます。市社協が誇る伝統と評価の高い福祉事業の継続・発展のために努めて参りますので、皆様方のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

今回紙面を介してごあいさつをする機会を得ましたので、いささか場違いかも知れませんが、私の経験則に基づく福祉に対する思いの一端を申し述べさせていただきます。

わが国の社会福祉は、平成12年の福祉基礎構造改革で大きく変更され、措置から契約となり、介護保険制度を始めとして新しい福祉制度が施行されました。

さて、「福祉」という文言の本来の意味は「幸せ、幸福」ですが、古い辞書には「公的扶助による生活の安定・充足」と記述されています。しかし、新しい「福祉」は“みんなで支えて創造するもの”と解するのが「正解」だと思えます。

「しあわせ」とは“欲を持ち過ぎず、自分と他人を比べない。物事は全て妥協できるところで折り合いをつけて、満足することが大切である”と私は定義付けています。

後期高齢者の意識改革と地域力（向こう三軒両隣）という言葉に代表されるような「相互扶助」の精神を覚醒させての再生に期待し、地域に「縁と絆」の再生を願っています。

社協を平易な文言で表現すれば「地域の福祉の応援団」です。したがって、国が抱えている大きな課題の解決には無力です。それだけに、市社協と校区社協及び地域の多くの関係機関・団体が手を携えて、市社協が策定した城陽市社協地域福祉活動計画IVで打ち出した「あの人の幸せを私の幸せに」を念頭に「身の丈に合った地域福祉活動」に取り組んでいただくこととなりますので、改めて一層のご支援をお願いいたします。

平成27・28年度 城陽市社会福祉協議会役員等名簿

【役員(理事・監事)名簿】		【評議員名簿】			
会長	鈴鹿 義弘 (学識経験者)	金井 勝 (久津川校区社協)	仲井 茂 (寺田西校区自治会連合会)		
副会長	坂上 馨 (学識経験者)	大谷 房雄 (古川校区社協)	久門 正雄 (今池校区自治会連合会)		
副会長	山崎 稔 (寺田・寺田南校区社協)	和田 壽春 (久世校区社協)	今西 昇 (富野校区自治会連合会)		
副会長	田島 茂 (民生児童委員協議会)	竹中 功 (深谷校区社協)	水野 幸一 (青谷校区自治会連合会)		
	坂口 恒夫 (久津川・古川校区社協)	沖 圭子 (寺田校区社協)	平田 美智子 (女性会)		
	木枝 順子 (久世・深谷校区社協)	島田 佳子 (寺田南校区社協)	井上 朋子 (PTA連絡協議会)		
	森 正夫 (寺田西・今池校区社協)	伊庭 顕夫 (寺田西校区社協)	越智 幸 (子ども会後援会協議会)		
	藤原 隆男 (富野・青谷校区社協)	竹田 晃雄 (今池校区社協)	楫谷 光子 (青少年健全育成市民会議)		
	田中 信三 ((福)青谷福祉会)	松井 清子 (富野校区社協)	大喜多 剛 (文化協会)		
	盛田 治 (高齢者クラブ連合会)	林 俊雄 (青谷校区社協)	金谷 俊明 (農業協同組合)		
	中村 俊雄 (ボランティア連絡協議会)	山崎 幸 (民生児童委員協議会)	井上 美知子 (国際ソロプチミスト)		
	稲味 史子 (女性会)	近藤 幸男 (民生児童委員協議会)	吉村 英基 (城陽市)		
	北澤 良次 (宇治久世歯科医師会)	一井 温子 (民生児童委員協議会)	竹村 友子 (学識経験者)		
	小嶋 啓之 (城陽市)	辻村 憲隆 ((福)うめの木福祉会)	阪田 治 (学識経験者)		
常務理事	山下 浩二 (学識経験者)	田島 諭 ((福)高陽会)			
		山代 浩史 ((福)南山城学園)			
監事	安田 行雄 (学識経験者)	芳川 敏博 (身体障害者協会)	【校区社会福祉協議会会長名簿】		
監事	井上 紀久子 (学識経験者)	古市 洋 (精神家族会)	大下 利實 (久津川校区社協)		
		小丸 智篤 (難聴者協会)	堀江 勉 (古川校区社協)		
		阪部 正博 (ボランティア連絡協議会)	谷口 重彦 (久世校区社協)		
		宮谷 貞夫 (久津川校区自治会連合会)	近藤 満雄 (深谷校区社協)		
		増田 貴 (古川校区自治会連合会)	藤本 露子 (寺田校区社協)		
		矢次 馨 (久世校区自治会連合会)	山口 武敏 (寺田南校区社協)		
		鈴木 規之 (深谷校区自治会連合会)	本城 隆志 (寺田西校区社協)		
		伊部 一郎 (寺田校区自治会連合会)	小林 保夫 (今池校区社協)		
		岩見 俊明 (寺田南校区自治会連合会)	高須 達雄 (富野校区社協)		
			畑中 完仁 (青谷校区社協)		

※敬称略・順不同、()は選出母体

平成27年度 城陽市社会福祉協議会 事業計画 (要約)

1. 身近な地域のつながりを強める ネットワークづくり

① 校区社協活動と基盤の強化支援
校区社協活動の活性化を図るため、計画的な拠点づくりを進めます。また、住民団体・関係機関とともに、よりきめ細かい校区別活動計画の策定に向け、地域実態の把握を進めます。

② 住民と専門職で創りあげる 福祉コミュニティ

孤立防止と災害緊急時の支援のために、校区社協等の見守り活動を推進する団体への助成と定期的活動の拡充に努めます。また、ふれあいサロンにおいて認知症予防の取り組みを織り交ぜられるよう人材育成に取り組みます。

2. 安心して気軽に集まれる地域の居場所づくり

① 福祉活動を行う人たちと活動場所の充実
校区社協拠点を始めとするサロン活動等福祉活動場所へ専門職が出向き、連携して相談支援の充実に努めます。

② 課題を抱えた人たちが気軽に集まれる場所の発掘と当事者支援
当事者の立場に沿った活動や支援の形を考える機会として、情報交換のための懇談会等を実施します。



3. 暮らしの基盤を地域と支える仕組みづくり

① 公的制度における福祉サービスの充実
生活困窮者支援に対して、生活福祉資金をはじめとした諸事業の課題整理・行政と連携した支援ルールづくりに努めます。また、平成27年度介護保険制度の見直しを受けて、利用者の細かなニーズに対応できるように介護保険事業等の資質向上を図り、効率的な運営を行います。

② 制度外の独自事業の充実と社会資源の活用
高齢者や障がい者に優しいお店・サービスの情報を広く共有するシステムの運用及び、事業者との具体的な連携体制を構築し、地域ぐるみで支え見守りあえる地域づくりを進めます。

4. 一人ひとりの思いを叶えるなかまづくり

① 福祉教育・福祉啓発
ボランティア活動の推進
ボランティア活動者の増員とボランティアアグループ組織の基盤強化支援のため、市民が気軽に活動に触れられる機会をつくれます。また、在宅介護者へ適切な介護方法を伝える講習会を開き、介護負担軽減に努めます。

② 福祉サービス利用支援の充実

市内の在宅介護支援センター等の協力を得ながら、地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域ケア会議を全ての地域において実施し、問題解決能力を高めます。また、ニーズが増加・複雑化している福祉サービス利用援助事業において、対応にあたる生活支援員の体制強化を図ります。

5. いつも頼りにされる組織づくり

① 市社協組織と財政の強化
市社協職員が地域における社協の役割等を理解し、地域福祉推進に協働して取り組める研修の充実を図ります。また、積極的な情報公開に努めます。

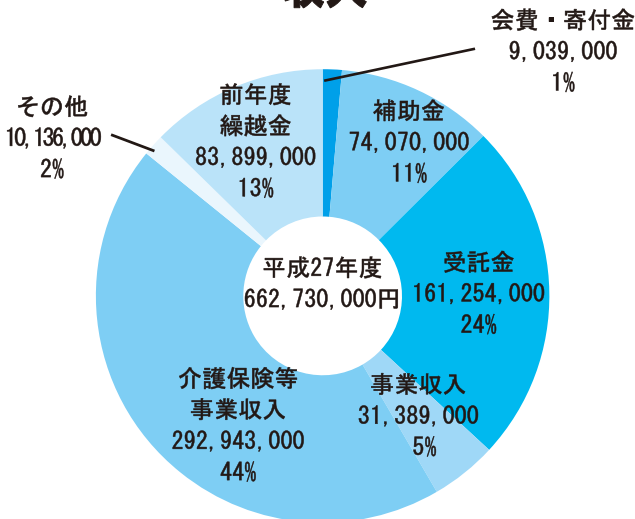
② 適切な情報管理と緊急時体制の構築

本会と市行政間で災害ボランティアセンター運営等に関する協定を締結し、センターの常設化を図り、新たに構成される推進協議会とともに、災害時支援体制の強化を図ります。また、市社協組織全体の適切な会計処理と、公平かつ安定した運営に努めます。

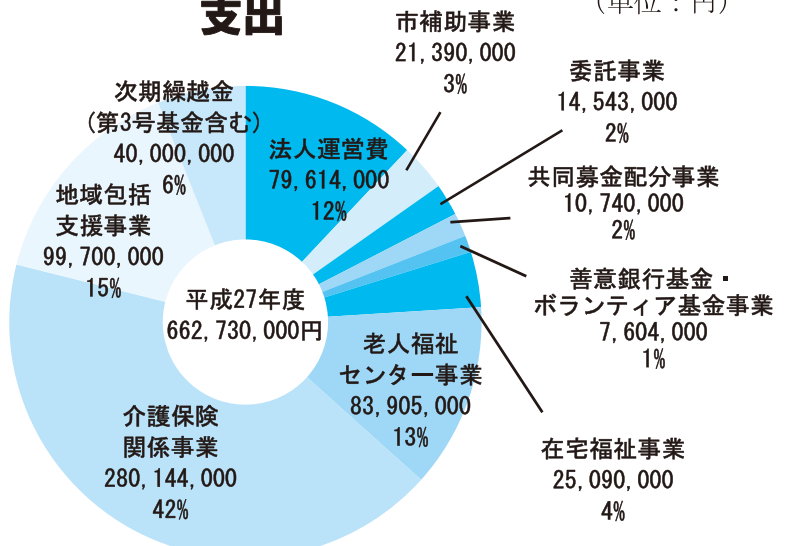
平成27年度 城陽市社会福祉協議会 予算

(単位：円)

収入



支出



本会では「城陽市社協地域福祉活動計画Ⅳ」の基本理念「あの人の幸せを私の幸せに」に基づき、5つの基本目標の達成に向けて鋭意取り組みを進めてきました。ここでは事業計画に基づく重点目標の評価を中心に、平成26年度の総括を行います。

1. 身近な地域のつながりを強める

ネットワークづくり(つながる)

校区社協は地域における住民福祉活動の拠り所であり、その活性化を図るために必要な支援を行いました。校区社協の拠点づくりについては、市社協からの継続的な財源支援をもとに、現在深谷・富野・寺田西・古川・久津川・久世校区の6箇所で開催を確保しています。

さらに見守り活動団体の増加のために府社協の補助事業である「高齢者訪問見守りボランティア強化事業」を活用し、各校区社協・自治会・高齢者クラブ等が行うことができる高齢者の見守り活動の助成支援をしました。

また、住民と専門職が一緒になって取り組むコミュニティづくりの一環として、日常生活圏域を基盤とするエリアにおける地域内の見守り体制構築に向けた「地域ケア会議」を地域包括

支援センターにおいて、久津川・古川校区をはじめ今年度は久世・深谷、富野・青谷校区で新たに開催し校区内の関係機関、団体等と協議を行いました。

2. 安心して気軽に集まれる

地域の居場所づくり(あつまる)

校区社協拠点を活用したサロン活動をはじめとする身近で気軽に集まれる場所づくりを推進するとともに、地域包括支援センター等の専門職がその場へ出向き相談窓口を設置し、住民ニーズの把握を行いました。

また、認知症に対する知識や予防のための体操・レクリエーション技術等を学び、地域ごとの活動に活かしてもらえるようリーダー研修にも取り組みました。

3. 暮らしの基盤を地域と支える

仕組みづくり(ささえる)

府社協委託事業の生活福祉資金貸付事業では、貸付・償還の体制強化を図るため引き続き専従相談員を配置し、厳正かつ適正な貸付基準の運用と相談援助を行ってきました。償還については滞納世帯への迅速で粘り強い説得・交渉を継続し、引き続き高い実績を上げています。

介護保険事業では、訪問介護事業、居宅介護支援事業、通所介護事業ともに昨年度の利用実績を下回り、経営的にも厳しい状況となっています。

また、昨年度まとめた「高齢者・障がい者にやさしいお店・サービス」の情報更新及び内容の精査を行うとともに、それに参加している企業やお店、訪問見守り活動をしている団体の方々を対象とした

研修会を開催しました。

4. 一人の思いを叶えるなかまづくり(かなえる)

ボランティア活動支援においては、今年度も引き続き財政支援と新規ボランティア活動参加者獲得のための講座やイベントを実施しました。

福祉サービス利用援助事業では、年々利用者が増加しており、事務局職員体制を強化し活動にあたりました。

高齢者の総合相談窓口として位置づけられている地域包括支援センターでは、引き続き地域ケアアシスタムの構築をめざして、医療機関・医師の協力を得た「医療連携事業」や校区社協・民生委員等との連携を図る「地域ネットワーク事業」にも引き続き取り組みました。

5. いつも頼りにされる組織づくり(たよれる)

市社協の住民会費は厳しい社会情勢の中、昨年を上回るご協力をいただきました。引き続き社協の実施する事業の必要性和理解を高める努力とマスコミを活用したPRの強化を行いながら、一人でも多くの住民が参画できる活動の増加に努めてまいります。

また、京都府社協等が主催する各種職員・職域研修に参加し、職員の資質向上に努めました。

各地で頻発する災害を教訓に、本市でも常設の災害ボランティアセンター設置に向け、「城陽市総合防災訓練」への参加や「城陽市災害ボランティアセンター推進協議会準備会」を設置し、運営マニュアルの作成等具体的準備を進めました。

《平成26年8月豪雨災害への支援》

平成26年8月に日本全域に被害をもたらした豪雨災害に対して、左記の取り組みを行いました。

① 職員の派遣↓被害の大きかった福知山市において現地災害ボランティアセンターの運営支援のため、計6日間のべ6人を派遣しました。

② 災害支援ボランティアバスの運行↓被害を受けた福知山市の支援のため、城陽市民や団体にも呼びかけ、バスを運行し現地支援活動を行いました（18人参加）。

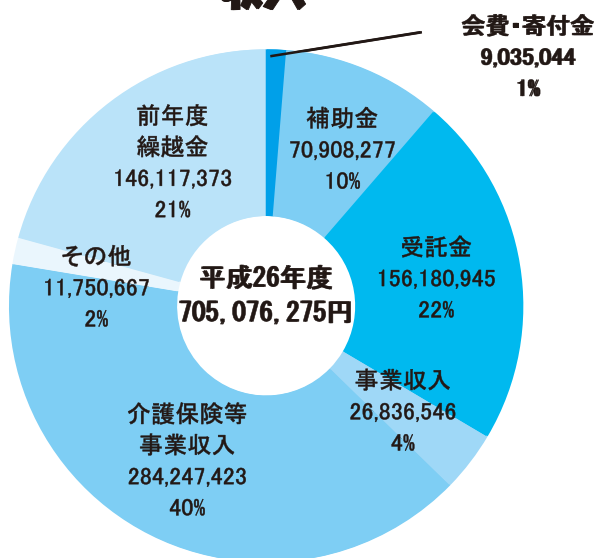
③ 義援金窓口の設置↓主として共同募金会の義援金窓口として受付を行うとともに、市内公共施設にも義援金箱を設置し広く義援金の呼びかけを行いました。



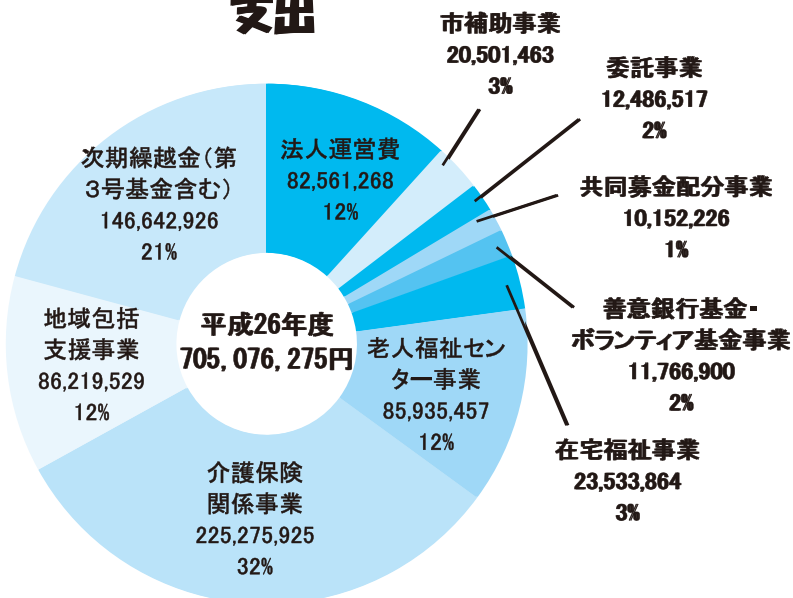
平成26年度 城陽市社会福祉協議会 決算報告

(単位：円)

収入



支出



*城陽市社会福祉協議会にご入会いただき、ありがとうございます。(単位：会員数=口数 校区別合計 ※施設会費除く)
また、会員募集にあたり各校区社会福祉協議会・自治会関係者のご協力をいただき、ありがとうございました。

普通会員 1口 500円、 賛助会員 1口 1,000円、 特別会員 1口 5,000円

	久津川	古川	久世	深谷	寺田	寺田南	寺田西	今池	富野	青谷	合計
普通会員	1,731	1,226	1,714	1,390	1,114	1,153	2,192	1,658	1,602	968	14,748
賛助会員	9	35	132	423	41	14	37	25	38	8	762
特別会員	0	0	3	3	0	0	3	0	0	0	9
会員合計	1,740	1,261	1,849	1,816	1,155	1,167	2,232	1,683	1,640	976	15,519

	久津川	古川	久世	深谷	寺田	寺田南	寺田西	今池	富野	青谷	合計
寄付金	37,620	41,801	10,800	2,300	31,650	17,800	19,401	37,895	43,190	49,090	291,547

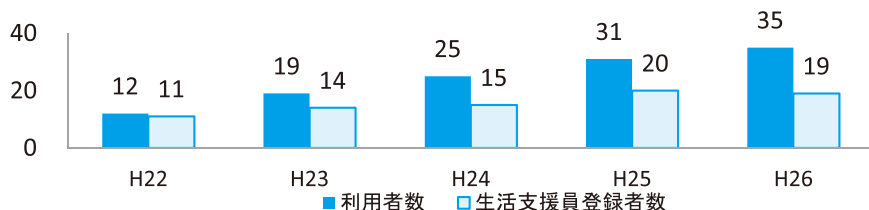
*500円未満の篤志については、寄付金としていただきました。各校区の合計金額 (単位：円)

*総額：8,472,547円

「生活支援員」として活動してみませんか？

市社協では、認知症・知的障がい・精神障がいなどで判断能力が不十分であるために、日常的なお金の支払い（電気・水道・ガスなど）や、福祉サービスの利用申請などの手続きができずに困っている方を支援する「福祉サービス利用援助事業」を行っています。

福祉サービス利用援助事業利用者等の推移(過去5年間) (単位:人)



近年は上記利用者も増加傾向にあり、実際に利用者宅へ訪問し支援する「生活支援員」も不足している状況です。そのため日常生活に困りごとを抱える方々を支援していただける生活支援員を募集しています。少しでも関心を持たれた方は、ぜひ市社協（TEL56-0909）までお問い合わせください。

[生活支援員条件等]
 市内在住で福祉に関心がある方
 活動時間等(目安): 月1~4回、利用者1人につき1~2時間
 活動費: 1時間あたり800円(交通費別)

サマースクールのボランティア募集しています！

サマースクールは昭和53年から「障がいのある子どもたちに爽やかな夏休みを・・・」との思いで始め、長期休暇である夏休みを存分に楽しんでもらえるよう、プールや夏祭りなど多様な活動を行っています。サマースクールが毎年開催できているのもボランティアの方の協力があるからです。子どもが好き、ボランティアに興味があるといった方々、半日や一日だけの参加も大歓迎です。子どもたちの楽しい休暇を作るお手伝いをしてみませんか。市社協（TEL56-0909）までご連絡お待ちしております。

日時	内容	場所
7月12日	ボランティア説明会	福祉センター
7月18日	開校式	福祉センター
7月22日	プール	宇治支援学校
7月27日	プール	寺田小学校
7月30日	プール	今池小学校
8月3日	プール	富野小学校
8月5日	プール	寺田小学校
8月8日	夏祭り	東部コミュニティーセンター
8月18日	工作・カレー	南部コミュニティーセンター
8月20日	閉校式・ボウリング	福祉センター
8月28日	反省会	福祉センター

善意のご寄付ありがとうございました

城陽市社会福祉協議会が行う事業のためにご寄付をいただいた方を紹介します。
 (平成27年4月1日~平成27年5月31日現在)

【受付順・敬称略】

- 徳尾榮一 寄付金 50,000円
- 小原和夫 寄付品 車いす

ご寄付は、本会の善意銀行等に積み立て、城陽市で行う地域福祉やボランティア活動の推進、物品は老人福祉センター等本会管理施設で活用させていただきます。車いすは、一般貸し出しや学校での福祉体験学習にも活用しています。

本社会福祉協議会では善意のご寄付を受け付けています。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。